

鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■編集/総務部編集委員会 ■発行/財団法人鹿児島県柔道会(電話 099-222-7770)

平成19年度のマニフェスト

会長 北 哲郎



爽やかな新緑の季節も過ぎ、本格的な梅雨の時期が巡って参りました。私が、会長に就任して早くも2年の歳月が流れました。競技力向上を最重点に掲げ、「武の国薩摩」の復活を目指しひたすら駆け続けて来ました。中・高校連携の強化練習や月に一度の中学強化練習等が実を結び、その結果、2年目にして、九州選抜中学校柔道体重別大会での本県選抜チームの初優勝国民体育大会少年男子・女子のアベック出場があり「武の国薩摩」の復活の兆しがそこに見えてきたように感じております。これも皆様方の御協力の賜と感謝している次第です。

さて、私は、平成19年度の定期総会で引き続き会長に選任されましたので、平成19年度財団法人鹿児島県柔道会の努力目標(マニフェスト)を掲げ、これを実践に移すことによって、鹿児島県柔道会の発展・充実を図っていきたいと思っております。

平成19年度財団法人鹿児島県柔道会努力目標(マニフェスト)

- 1 競技力向上と柔道を通じた人間教育
 - (1) 国民体育大会へ向けた強化練習
 - (2) 中学校毎月1回の強化練習
 - (3) 各種大会・強化練習等を通じた人間教育
 - ・郷中教育三つの原点の継承
 - 「負けるな」
 - 「嘘を言うな」
 - 「弱い者を苛めるな」

- 2 少年柔道組織の育成強化
 - (1) 少年柔道の育成事業部結成
 - (2) 登録をして、IDカード・県指定ワッペン・柔道手帳等を活用して、鹿児島県柔道修行者として責任と誇りを持たせる活動
 - (3) 指導者による練習時間中の人間教育「精力善用」「自他共栄」「郷中教育」等
 - (4) 柔道の魅力づくり
楽しく・明るい・安全な柔道
 - (5) 指導者の研修会の実施
- 3 柔道人口の増大
 - (1) 底辺、裾野を拡充
 - (1) 少年柔道の登録の推進
 - (2) 昇段者・推薦者の掘り起こし
 - (3) 登録の定着(昇段時の指導)
- 4 広報活動の推進
 - (1) 柔道会だよりの活用
 - (2) 各種イベントを開催し、柔道の素晴らしい体験をさせる。
「柔道フェスタ」「九州ジュニア合宿」「マルちゃん杯」「九州選手権」「九州高校新人大会」
 - (3) マスコミ・メディアの活用
報道機関への積極的な情報の提供・働きかけ
- 5 組織体制の確立
 - (1) 総務部 木原 畑添
 - (2) 事業部 亀丸 和田 田邊
 - (3) 審議部 豊永 田島
 - (4) 登録部 木本 田中
 - (5) 強化部 山崎 北菌
 - (6) 審判部 堀之内 北菌
 - (7) ルネッサンス教育部
徳永 稲田
田原 林
 - (8) 事務局 宇都 堀之内 鮫島
 - (9) 各支部活動の推進

北 哲郎会長再任・新体制

会長	北 哲郎 (兼全柔連評議員)
副会長	木原 紀幸 (兼総務部長)
〃	豊永 強 (兼審議部長)
〃	亀丸 政弘 (兼事業部長)
理事長	松永 郁男 (兼九州柔道協会評議員)
常務理事	宇都 克洋 (事務局長)
〃	堀之内俊隆 (審判委員長)
〃	山崎 逸郎 (強化部長)
〃	木本 洋一 (登録部長)
〃	徳永 正明 (ルネッサンス教育委員)
理事	柏木 茂穂 (全日本柔道少年団理事)
〃	和田 茂市 (事業担当)
〃	田邊 侑 (事業担当)
〃	安楽 進一郎 (高体連柔道専門部長)
〃	稲田 博実 (強化担当)
〃	北薊 季康 (強化担当)
〃	田中 総一 (強化担当)
〃	田島 史朗 (審議担当)
監事	入船 次與
〃	牧 光紘 (顧問医)
書記	鮫島 明美
顧問	林 三郎
〃	山下 開導
〃	嶋田 武夫
〃	寺前 弘道
〃	林 岩男
〃	田淵 巖
〃	牧 光紘 (顧問医)
〃	入來 敦久 (顧問医)
評議員	畑添 勉 (鹿児島支部長・市会長)
〃	屋敷平勝正 (鹿児島支部)
〃	井川 秋義 (鹿児島支部)
〃	米倉 優一 (鹿児島支部)
〃	大脇純一郎 (鹿児島支部)
〃	小林 義弘 (鹿児島支部)
〃	福元 雅一 (鹿児島支部)
〃	向井 一輝 (鹿児島支部)
〃	中薊 雅博 (鹿児島支部)
〃	田原 幸一 (鹿児島支部)
〃	西 淳一 (鹿児島支部)

評議員	豎山 孝一 (鹿児島支部)
〃	林 岩宏 (鹿児島支部)
評議員	田川 盛二 (奄美支部長・事務局)
〃	房永 満亘 (奄美支部)
〃	太利 憲吾 (奄美支部)
評議員	蓮子 昭夫 (熊毛支部長)
〃	鎌田 哲二 (熊毛支部)
〃	日高 憲文 (熊毛支部事務局員)
評議員	島 猛 (出水支部長)
〃	鶴田 均 (出水支部)
〃	森 浩一郎 (出水支部)
〃	田淵 巖 (出水支部事務局員)
評議員	慶越 武則 (阿久根支部長)
〃	松永 頃利 (阿久根支部)
〃	古賀 正男 (阿久根支部事務局員)
評議員	小辻 富義 (川内支部長)
〃	吉内 一夫 (川内支部)
〃	平 善行 (川内支部)
〃	吉内 孝徳 (川内支部事務局員)
評議員	畦元 徹郎 (日置支部長)
〃	田村 勉 (日置支部)
〃	南 昌治 (日置支部・事務局員)
評議員	矢野 希 (南薩支部長)
〃	茶屋 征夫 (南薩支部)
〃	野沢 好則 (南薩支部・事務局員)
評議員	田村 信弘 (指宿支部長)
〃	平川 善治 (指宿支部)
〃	石田 泰祐 (指宿支部事務局員)
評議員	森 好郎 (大口支部長)
〃	河野 辰男 (大口支部)
〃	益満 亮太 (大口支部事務局員)
評議員	小妻 幸造 (始良支部長)
〃	木上 洋臣 (始良支部)
〃	内村 秀樹 (始良支部)
〃	末満 盛家 (始良支部事務局員)
評議員	山川 賢朗 (肝属支部長)
〃	小手川清廣 (肝属支部)
〃	持留 信雄 (肝属支部)
〃	宮ヶ原秀一 (肝属支部事務局員)
評議員	花堂 信隆 (曾於支部長)
〃	飛松 義忠 (曾於支部)
〃	鮫島 芳美 (曾於支部)
〃	西鍋 優一 (曾於支部事務局員)

柔道功労者等表彰者と受賞者

喜びの声

【柔道功労者等表彰者】

1 感謝状 5名

- ① 田渕 巖氏(出水支部) 県柔道会理事、出水支部長、出水市柔道会長等を歴任し、柔道会発展のために尽力。特に、指導者登録では、毎年県都鹿児島支部を上回る業績を上げた。
- ② 屋敷平勝正氏(鹿児島支部) 県柔道会造士館の設立以前から率先して稽古に励み、生涯柔道の良き手本となった。傍ら、後進の指導にも顕著な功績を残した。
- ③ 井川 秋義氏(鹿児島支部) 県柔道会造士館の設立以前から率先して稽古に励み、生涯柔道の良き手本となった。傍ら、後進の指導にも顕著な功績を残した。
- ④ 小野原洋伸氏(鹿児島支部) 県柔道会造士館の設立以前から率先して稽古に励み、生涯柔道の良き手本となった。傍ら、後進の指導にも顕著な功績を残した。
- ⑤ 濱田 征夫氏(鹿児島支部) 県柔道会造士館の設立以前から率先して稽古に励み、生涯柔道の良き手本となった。傍ら、後進の指導にも顕著な功績を残した。

2 優秀監督表彰 1名

- ① 田邊 侑氏(鹿児島支部) 鹿児島工業高等学校在任中、県高等学校柔道大会団体戦六連覇や個人戦でも優秀な選手を育てた。また、地方の学校に勤務中も優秀な成績を残した。

3 地域振興指導者 4名

- ① 小手川清廣氏(肝属支部) 肝属支部の支部活動・柔道少年団の結成等に多大の貢献をした。
- ② 里山 壮生(奄美支部) 柔道少年部の指導を永年に亘り行い、奄美柔道会の発展に寄与した。
- ③ 仲津留政隆(奄美支部) 永年に亘り和泊柔道連盟会長や奄美県体の和泊チームの監督を歴任し、30年以上に亘り、青少年の健全育成に尽力した。

- ④ 平川 善治(指宿支部) 別府柔道スポーツ少年団、別府中学校柔道部指導者としてその手腕を発揮、多くの優秀な児童生徒を育て地域の模範としての評価も高い。

【受賞者喜びの声】

○ 屋敷平 勝正氏 「造士館での思い出」

私が、造士館に入館したのは、昭和41年(1966年)10月でした。当時の練習は毎日あり、週のうち2日ぐらひは、3~4人の日もありました。いつも同じ顔ぶれで(彼女のいない人)練習していました。

練習の前に柔道着に着替えて城山の階段を上り、一汗かいてから道場で乱取り稽古をし、今は懐かしい五右衛門風呂に入らせていただいて終わりという毎日でした。

最近では、柔道着に着替えるものの体操や打ち込みをする位で汗の出るような練習はできませんが、孫のような子供たちと会えることが楽しみになっています。

光陰矢の如し、月日は経ってしまいました。が顧みますと歴代の館長や諸先生方・仲間に出会い、御指導いただいたことを大変感謝しております。

また、この度の受賞は、これまでの造士館の柔道を振り返って見るチャンスとなり、これから柔道を続けて行こうという新たな気持ちになりました。ありがとうございました。

○ 田邊 侑氏 「柔道に感謝」

私は、鹿児島大学卒業後、古仁屋・鹿児島水産・鹿児島工業・伊集院高等学校で柔道の指導に携わりました。

特に、鹿児島工業高等学校では、素晴らしい保護者OB等に恵まれ、監督として高校インターハイ・全国高校柔道選手権県予選ともに六連覇を果たすことができました。

全国規模の大会での成績は、金鷲旗大会ベスト8が最高でしたが、国民体育大会では、鹿児島工業高校の選手を中軸とする混成チームが、準優勝と5位の成績を収めました。

個人戦では、全日本選手権大会準優勝の大漣賢司をはじめ、5人の教え子たちが各種全国大会でメダリストになり、感激を与えてくれました。

彼らの活躍により、私は、優秀指導者として

全国高体連表彰の栄に浴することができました
また今回、退職を機に県柔道会より優秀監督
表彰をいただき、感謝に耐えないところです。

これからは、私を育ててくれた柔道、そして
今まで支えていただいた方々に感謝しつつ柔道
の振興に微力ながら尽力したいと考えておりま
す。

○ 小手川清廣氏 「柔道少年団とのかかわり」

昭和40年末に県外から、郷里内之浦に帰
りました。

当時、内之浦中学校の柔道部が廃部になっ
ていたので、少人数の子供たちと公民館に畳を敷
いて柔道の練習をしていました。そうこうして
いるうちに柔道少年団員も増えてきたので、内
之浦町当局や各方面に武道館の新築を陳情し、
30年前に武道館が新築落成しました。幸いに
も小学校に柔道のできる指導者がいたので顧問
をお願いしました。小学生が40名入団してき
ました。毎日の練習には、柔道連盟員や保護者
も集まり、活況を呈しました。各大会には殆ど
出場し、大活躍しました。今でも、当時の子供
たちが、各方面で活躍しているのを見たり聞い
たりした時、柔道少年団の指導にかかわって
いて良かったと思っています。

7年後に顧問の先生も私も転勤になり、その
後解散になっていますが、今年郷里内之浦に帰
りました。武道館を目前にして、当時のことを
思い浮かべますと感慨無量でした。

最後に、県柔道会の表彰式で栄えある大賞を
戴いた上に投稿の機会まで戴き感謝にたえませ
せん。今後は、戴いた賞に恥じないように精進
し、これからも好きな柔道とかかわりを持って
生き続けたいと思っています。

七段・八段昇段者と喜びの声

【平成19年度 七段、八段昇段者】

○ 八段昇段者 (1名)

林 岩男 (鹿児島支部)

○ 七段昇段者 (11名)

庵之下 晴雄 (鹿児島支部)

井川 秋義 (鹿児島支部)

小辻 富義 (川内支部)

鮫島 俊隆 (鹿児島支部)

徳永 正明 (鹿児島支部)

永峯 弘明 (始良支部)

福元 正男 (鹿児島支部)

福元 忠厚 (鹿児島支部)

山川 賢朗 (肝属支部)

畦元 徹郎 (日置支部)

久保山 徳男 (鹿児島支部)

【八段昇段者喜びの声】

○ 林 岩男氏 「継続は力」

平成19年5月1日 北哲郎県柔道会長から
「貴方の八段昇段が、内定しましたよ。」とお
電話を戴きました。その時の喜びと感動は筆舌
に尽くしがたいものでした。

昨年の2月に北会長から、八段受験のお勧め
を戴いた時は、「私ごとき者」がと驚き内心じ
くじたる思いが致しましたが、しかし折角の授
かりました大切な機会と考え、受験に挑戦する
決心を致しました。以来1年余りの間、北会長
をはじめ県柔道会の諸先生方の御指導御鞭撻を
いただき目標に到達できましたことは、誠に感
謝にたえません。

振り返りますと昭和25年中学1年のとき、
父林岩三から「これは手刺しの良い柔道衣だか
ら大切に使いなさい。」と一着の柔道衣を手渡
され、喜び勇んで二の丸の柔道会館（現在の造
士館）で稽古を始めました。

当時は、戦後の混乱した時代でしたが、禁止
されていた学校柔道が復活し、柔道復活を待ち
望んでいた人たちが水を得た魚の様に柔道会館
に集まり、高段者の大先生方を始め、一般・高
校・中学生たちで道場はまるで芋の子を洗うよ
うな稽古振りでした。ちょうど、吉松義彦六段
が、全日本柔道選手権を取られる直前で、県内
外の強豪たちと火の出るような稽古をされるの
を、私は道場の隅から恐々と見ていたのを思い
出します。

以来57年間、学生時代は言うに及ばず、社
会人としても継続して今日まで様々な形で柔道
に携わってまいりました。これも一重に柔道一
筋に生きた林岩三の薫陶を受け、尊い御指導を
戴きました恩師の吉松義彦先生、法充保晴先生、
そして諸先輩、朋友、教え子たちとの出会いと
切磋琢磨の賜物と感謝しております。

現在、昭和50年に再興した「修道館」柔道
道場で青少年の健全育成と柔道の底辺拡大を願

い、愚息林岩宏と力を合わせ少年柔道の指導に取り組んでいる今日このごろです。

「柔道指導者講習会」報告

県総合体育センターとの共催で今年は30回目の柔道指導者講習会が、5月15日と16日の2日間にわたって県総合体育センターの武道館で受講者144人が参加して開催されました。

1日目は、午前中に南日本新聞社光安善樹編集委員の「取材と報道」についての講話と柏木茂穂全日本スポーツ少年団理事から、全国スポーツ少年団講習会伝達がありました。

午後からは、講義Ⅰ「国際柔道連盟試合審判規定について 北園季康氏（大口警察署）」と実技Ⅰ「投の形 福元雅一氏（鹿児島中央警察署）」・「柔の形 中村 勇氏（鹿屋体育大学）」が、前後半に分けて実施され、受講者が熱心に受講しました。

2日目は、午前中に実技Ⅱ「護身術 徳永正明氏（鹿児島拘置支所）」実技Ⅲ「救急法・AED 山崎逸郎氏（鹿児島県警察本部）」が前後半に分けて指導された。特に「救急法・AED」は、救命に絶対に必要であって、かねて触れたことのない機器ということもあって、受講者は、汗を流しながら熱心に実習に取り組んでいました。

午後からは、講義Ⅱ「講道館柔道試合審判規定について 田中総一（鹿児島県警察本部）」と実技Ⅳ「審判法・高段者試合 北園季康（大口警察署）」があり講習会の全ての日程を終了した。

この指導者講習会は、毎年5月の中旬に指導者の資質向上のために開催されており、各支部の柔道会役員・学校の教師・警察や刑務所それに一般の柔道関係者などが、県内の各地から集まり、参加者も毎年100人を越えています。鹿児島県柔道会が、力を入れている行事の一つです。

成 功 さ せ よ う ！

マルちゃん杯 九州少年柔道大会

平成19年6月10日（日）9時開会式
鹿児島アリーナ・メインアリーナ

（支部だより 1）

「伝統ある肥薩対抗柔道大会」

出水支部長 島 猛

平成19年3月11日の日曜日、出水市武道館柔道場に黄色い声援が飛び交う。

文字どおり、肥後と薩摩対抗の肥薩対抗柔道大会は、小学生から大人までの総勢約100人が、熱戦を繰り広げる。

特に、小学生の対抗では、子供たちの必死な形相と、それを見つめ子供たち以上にヒートアップして、技の応酬に一喜一憂する親たちの姿が、時には観客の笑いを誘う。

戦前から開催されていたと言われるこの大会は戦後に一時開催できない期間もあったが、毎年恒例の出水支部の行事として引き継がれ、鹿児島県の出水地区と熊本県の水俣・芦北地区で交互に開催されている。そしてこの大会には、かつて数々の名選手が参加しており、前鹿児島県柔道会長の故・法亢保晴先生も薩摩軍の代表として参加されたこともあると聞いております。

出水支部としましては、この伝統ある大会を今後も引き続き継続していくとともに、益々盛んになっていくことを念じているところでございます。

県柔道会出水支部は、出水地区2市4町で構成されていましたが、平成17年の3月に旧出水市と高尾野町・野田町が合併して新出水市が、旧東町と長島町が合併して新長島町がそれぞれ誕生しました。このため旧市町ごとに設立されていた柔道会も市町合併を機に一緒になるべきとの多くの会員の一致した考えから、昨年5月に出水市、高尾野町、野田町の柔道会が一つになり、新しい出水市柔道会が誕生したことは、大きな喜びでございます。

柔道会の目的は、「柔道を普及振興し、日本柔道の真髄を体得することによって自己を完成し、世を補益し、会員の融和親睦を図ること。」としておりますが、まさしく我々柔道家は、「精力善用・自他共栄」の精神で、世の中に貢献していかなければならないと近年の様々な事件・事故等を通して改めて感じているところでございます。

御承知のとおり、出水地区は昔から柔道が盛ん

な地域でございまして、上口孝文選手や諏訪剛選手を始めとする数多くの優秀な柔道選手を輩出しておりますが、このような狭い地域の中からたくさんの優秀な選手が数多く生まれていることは、全国でも稀なる地域ではないかと誇りと自信を持っているところでございます。

そのようなこともあり、昭和47年には、国民体育大会の柔道競技が、そして、10年後の昭和57年には、全国高等学校総合体育大会の柔道競技が相次いで開催されたところでございます。大会の開催に当たりましては、県内柔道関係者の皆様の御協力をいただきながら、地元柔道関係者が一致協力してこれらの大きな事業を成し遂げたことは、今をもって我が出水支部の誇りとしているところでございます。

しかしながら、現在の出水地区2市1町の柔道会員は、100名にも満たない状況でございます。このことは、地区の中でかつて柔道に精進していたことのある者の3分の1、否、5分の1にしか過ぎないことを実感としている柔道会員に取りましては、大変残念であり、また、寂しい事でございます。柔道競技は、格闘技であり、加齢とともに競技そのものを直接楽しむことは難しくなることも一因であり、また、会員でなくなってから、大会等の場へ足を運ぶこともまた、躊躇があるものと察せられるところです。

そのようなことを勘案したときに、今後も引き続き全日本柔道連盟への現在の登録者数を維持していくことは大きな負担を伴うことから、大変困難なことではないかと考えておりますので、日本柔道を直接的ではなく、間接的に側面から支援する制度として、準会員の制度を検討していただくことが大事ではないかと考えておりますし、希望するところでございます。

最後に、鹿児島県柔道会の益々の発展と伝統ある肥薩対抗柔道大会の開催に出水支部として今後も全力を挙げて取り組むことを御報告申し上げまして、出水支部の近況報告といたします。

各種大会の成績 (1月～5月)

・県下高等学校柔道選手権大会

1月20日(土)、21日(日)鹿児島アリーナ
団体戦

- 男子1位 甲陵高等学校
 " 2位 鹿児島商業高等学校
 " 3位 鹿児島実業高等学校
 " 3位 鹿児島工業高等学校
 女子1位 鹿児島南高等学校
 " 2位 鳳凰高等学校
 " 3位 中種子高等学校
 " 3位 出水中央高等学校

個人戦

男子(60kg級)

- " 1位 田中 康平(鹿児島商業高等学校)
 " 2位 前田 隼哉(鹿児島商業高等学校)

男子(73kg級)

- " 1位 矢田 友克(甲陵高等学校)
 " 2位 松山 貢士(甲陵高等学校)

男子(90kg級)

- " 1位 遠矢 大将(甲陵高等学校)
 " 2位 福重幸太郎(甲陵高等学校)

男子(100kg級)

- " 1位 久保田大樹(鹿児島工業高等学校)
 " 2位 金子 博史(鹿児島実業高等学校)

男子(100kg超級)

- " 1位 高木 悠希(鹿児島商業高等学校)
 " 2位 鳥越 恵(鹿児島商業高等学校)

女子(52kg級)

- " 1位 西菌 裕弥(鹿児島南高等学校)
 " 2位 羽生優紀子(鹿児島実業高等学校)

女子(70kg級)

- " 1位 児玉 裕未(鹿児島南高等学校)
 " 2位 吉元 佳代(鹿児島南高等学校)

女子(無差別級)

- " 1位 上菌 結(鹿児島南高等学校)
 " 2位 板床 真由(出水中央高等学校)

・鹿児島県柔道選手権大会

2月4日(日)鹿児島アリーナ武道場

1位 帖佐 大輔(2連覇)

- 2位 濱田 敏徳
 3位 藤山 順臣
 3位 横峯 亨
 5位 田代 竜二

・鹿児島県女子柔道選手権大会

2月4日(日) 鹿児島アリーナ武道場

1位 松井 陽子 (2度目の優勝)

2位 上野まゆみ

3位 荒武小詠美

・県下中学校柔道新人大会

2月18日(日) 鹿児島アリーナ武道場

団体戦

1位 阿久根中学校

2位 立神中学校

3位 志布志中学校

3位 川内中央中学校

男子個人戦

1位 溝口 恵祐 (志布志中学校)

2位 中城 瑛嵩 (伊敷中学校)

女子個人戦

女子(44kg級)

1位 児玉 千春 (末吉中学校)

2位 福山さくら (川内中央中学校)

女子(48kg級)

1位 白石麻里子 (末吉中学校)

2位 西村 和華子 (松元中学校)

女子(52kg級)

1位 新村 夏美 (松元中学校)

2位 中村 華恋 (緑丘中学校)

女子(57kg級)

1位 丸尾 薫 (川内中央中学校)

2位 四郎園 蘭 (松元中学校)

女子(63kg級)

1位 長野 希美 (榕城中学校)

2位 畠中 真幸 (吹上中学校)

女子(70kg級)

1位 浜崎 美菜 (山川中学校)

2位 石橋 采子 (松元中学校)

女子(70kg超級)

1位 稲森 奈見 (末吉中学校)

2位 蔵菌めぐみ (山川中学校)

・県下少年新人柔道大会

2月25日(日) 鹿児島アリーナ武道場

団体戦

1位 志布志柔道スポーツ少年団

2位 宇検柔道スポーツ少年団

3位 南界柔道スポーツ少年団

4位 末吉柔道スポーツ少年団

・県高等学校柔道競技大会

5月29日(火)・30日(水)

鹿児島アリーナ・メインアリーナ

【男子団体戦】

1位 甲陵高等学校 (3連覇)

2位 中種子高等学校

3位 鹿児島実業高等学校

4位 鹿児島商業高等学校

【男子個人戦】

男子(60kg級)

1位 田中 康平 (鹿児島商業高等学校)

2位 前田 隼哉 (鹿児島商業高等学校)

男子(66kg級)

1位 羽生 優喜 (鹿児島実業高等学校)

2位 嶋 洋平 (鹿児島情報高等学校)

男子(73kg級)

1位 矢田 友克 (甲陵高等学校)

2位 川畑 幸平 (鹿児島工業高等学校)

男子(81kg級)

1位 福重 幸太郎 (甲陵高等学校)

2位 福 康弘 (中種子高等学校)

男子(90kg級)

1位 遠矢 大将 (甲陵高等学校)

2位 内 健治郎 (鹿児島工業高等学校)

男子(100kg級)

1位 相川 翔太 (鹿児島商業高等学校)

2位 金子 博史 (鹿児島実業高等学校)

男子(100kg超級)

1位 土屋 潤 (鹿児島商業高等学校)

2位 向井 香太 (中種子高等学校)

【女子団体戦】

1位 鹿児島南高等学校 (9連覇)

2位 鳳凰高等学校

3位 中種子高等学校

4位 出水中央高等学校

【女子個人戦】

- 女子 (48kg 級)
 1位 堅山 優 (鹿児島南高等学校)
 2位 南 小百合 (鹿児島南高等学校)
- 女子 (52kg 級)
 1位 西薊 裕弥 (鹿児島南高等学校)
 2位 川邊 未来 (出水中央高等学校)
- 女子 (57kg 級)
 1位 吉元 佳代 (鹿児島南高等学校)
 2位 遠藤 静香 (鳳凰高等学校)
- 女子 (63kg 級)
 1位 新原 みなみ (鳳凰高等学校)
 2位 水俣 潮里 (鳳凰高等学校)
- 女子 (70kg 級)
 1位 濱田 尚里 (鹿児島南高等学校)
 2位 白澤 恵子 (鹿児島南高等学校)
- 女子 (78kg 級)
 1位 上別府 宏美 (鳳凰高等学校)
 2位 上薊 結 (鹿児島南高等学校)
- 女子 (78kg 超級)
 1位 吉野 光 (鹿児島南高等学校)
 2位 野瀬 美幸 (れいめい高等学校)

平成19年度本部・支部

昇段試験の日程

- 奄美 8月19日(日) 奄美柔道連盟道場
 熊毛 12月8日(土) 種子島中央武道館
 出水 7月29日(日) 出水市武道館
 阿久根 11月11日(日)阿久根市武道館
 川内 8月26日(日)れいめい高校武道館
 川内 1月27日(日)れいめい高校武道館
 日置 8月19日(日)伊集院武道館
 南薩 7月29日(日)枕崎市武道館
 指宿 7月22日(日)指宿高校武道館
 大口 月 日 大口市総合体育館武道場
 始良 6月24日(日)国分中央高校武道館
 始良 11月25日(日)国分中央高校武道館
 肝属 8月 5日(日)鹿屋市武道館
 肝属 1月27日(日)鹿屋市武道館
 曾於 7月29日(日)志布志市武道館
 本部 7月29日(日)県総合体育センター
 本部 1月13日(日)県柔道会館 (造士館)

有名選手が、大集合！

九州ジュニアブロック合宿・柔道フェスタ
 平成19年10月25日(木)～28日(日)
 鹿児島アリーナ武道場

奄美で、九州高校柔道大会！

平成19年度九州高等学校新人柔道大会
 平成19年11月24日(土)・25日(日)
 奄美体験交流館

九州の強豪が、鹿児島で！

第50回九州柔道選手権大会
 第18回九州女子柔道選手権大会
 平成20年3月9日(日)
 鹿児島アリーナ

主な行事予定 (6月～9月)

- 6月 2日 県ジュニア体重別選手権大会
 6月 3日 県下中学校大会
 6月10日 九州少年柔道大会 (マルちゃん杯)
 6月16日 県下少年学年別柔道大会
 7月22日 少年部強化練習会及び指導者研修会
 7月24日 県下中学校総体柔道競技～25日
 7月29日 中学生暑中稽古～31日
 8月25日 形審査会 (六段)
 8月26日 県少年学年別練成大会
 9月 8日 審議会 (五段以下)
 9月16日 第61回県民体育大会
 (志布志運動公園武道館)

【編集後記】

「県柔道会だより」の創刊から2年が経過し、3年目に入りました。今回から「支部だより」を加え、内容の充実を図りました。この「支部だより」は、連載するつもりです。各支部に原稿の依頼をしますので、快く引き受けて、投稿して下さいようにお願いします。「読みやすく、読みたい、そして、保存して取っておきたい鹿児島県柔道会だより」にしたいと思っています。これからもよろしくをお願いします。(文責 畑添 勉)